学年	中学３年	教科	美術	科目	美術	単位数	1
教科書名		美術２・３　探求と継承 (開隆堂)		副教材名	画材など		
コース・クラス		中高一貫					

Ⅰ．目標

・図画工作で培われた感性や表現・鑑賞における基礎的な能力などの学習経験を生かし、美術での資質や能力向上と豊かな人間性の形成を図る。

・また、ものを作る過程で教材や道具を安全、大切に扱うことを学び、マナーやルールを守ることを身につける。

Ⅱ．授業のねらい

・身近な人のスケッチや、身の回りの動植物を表現させる題材から「身近な人、ものへの愛着」や「生命の尊さ」を学ぶ事を課題とする。「色の性質」や色彩についての基礎知識の学習を進める。

Ⅲ．授業の進め方

・美術室で行う。参考作品(教員の作例、過去の生徒作品、作家の作品)の鑑賞を通して課題を理解し、そこから自分のイメージを膨らませる。

・頭の中で考えたことを紙の上にスケッチしてイメージと現実のギャップを感じ取らせ、足りない部分を根気よく補いながら、自分のイメージに近づくよう制作させる。

・道具を使用する作業の場合は安全に注意し、説明に従って作業をさせる。「すずかけ祭」で作品展示を行わせる。

Ⅳ．学習上の留意点

・今後の学習や制作につながるような規則正しい行動をする。自分の考え方や、課題に対する考え方を大切にする。

・提出物の期限を守る。

・作業後の後片付けをきちんと行う。個々の材料や道具には記名をして管理する。

Ⅴ．定期試験

１学期　中間試験　：　定期試験は行わず、作品提出や授業内小テストを行う。

１学期　期末試験　：　定期試験は行わず、作品提出や授業内小テストを行う。

２学期　中間試験　：　定期試験は行わず、作品提出や授業内小テストを行う。

２学期　期末試験　：　定期試験は行わず、作品提出や授業内小テストを行う。

３学期　学年末　　：　定期試験は行わず、作品提出や授業内小テストを行う。

Ⅵ．評価の方法

・技術的な完成度と制作に対する熱意、限られた条件の中での工夫や表現内容の豊かさ、発展性、計画性、提出期限を守れたかなどを評価の視点とする。また、小テスト、出席状況や授業態度も重視する。

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4 5 6 7	彫刻 ・木彫 ・木工の彫り方の基本を学び取り入れて制作する。 工芸 ・スクラッチ皿 ・皿に愛着のあるデザインを考えスクラッチ制作する。	作品提出 授業態度 実技テスト	・木の素材を十分に生かした作品づくりができる。 ・作る喜びと鑑賞する楽しさを学ぶ。 ・自らのイメージに忠実に、根気よく表現できる。 ・彫刻刀の正しい使い方、彫り方を理解する。 ・完成をイメージし、計画的に作業を進めることができる。 ・スクラッチ皿制作の正しい手順と道具の使用方法を理解する。
二学期	9 10 11 12	模写 ・名画の模写 ・印象派の画家について学び、絵の具で模写する。 デザイン ・ポスター制作	作品提出 授業態度 実技テスト	・絵の道具の使い方と技法を理解する。 ・印象派の作品の特徴を理解する。 ・自分独自の表現方法を工夫し積極的に課題に取り組む。 ・印象派の画家の歴史を学び理解する。 ・与えられたテーマに沿って、資格伝達できるポスターを制作する。
三学期	1 2 3	鉛筆デッサン ・ものの形の捉え方、質感、量感など踏まえ与えられたモチーフを描写する。	作品提出 授業態度	・鉛筆の種類と消し具について理解を深める。 ・対象をよく観察し表現することができる。

※　シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。